

報 告 番 号 4 号

令和 7 年 3 月 3 1 日

根室市議会議長 田塚 不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会 派 名 創 新

代表者名 足立 計昌

区 分	☐ 調査研究 ・ ☐ 研 修 ・ ☐ 広 報 ・ ☐ 広 聴 ☐ 要請・陳情活動 ・ ☒ 北方領土対策活動 ・ ☐ 会 議
活動テーマ・目的等	① 尖閣諸島開拓 130 周年記念講演への参加 ② 石垣市議会 議会の ICT 改革についての視察 ③ 竹富町議会 表敬並びに北方領返還運動への協力要請 ④ 尖閣諸島開拓 130 周年記念式典への参加 ⑤ 与那国町議会 表敬並びに北方領返還運動への協力要請
期 間	令和 7 年 1 月 12 日（日）～令和 7 年 1 月 16 日（木）
参 加 者 氏 名	足立計昌、 五十嵐 寛、 永洞 均、 田塚不二男
応 対 者	石垣市議会事務局 竹富町議会事務局 与那国町議会事務局
場 所	石垣市市民会館 石垣市役所 竹富町役場 与那国町役場
行 程	01 月 12 日（日）根室→釧路空港→羽田空港 01 月 13 日（月）羽田空港→石垣空港 ①石垣市民会館 01 月 14 日（火）②10 時 石垣市議会 議会事務局（視察） ③13 時 竹富町議会 議会事務局（表敬） ④15 時 石垣市民会館 01 月 15 日（水）⑤与那国町議会 議会事務局（表敬） 01 月 16 日（木）与那国空港→石垣空港→羽田空港→釧路空港 →根室

内 容 ・ 成 果 等	① 1月13日に行われた尖閣諸島開拓130周年記念講演会では、作家の「門田隆将」先生や東海大学教授の「山田吉彦」先生による講演会のほか、音楽ユニット「給食当番」によるライブ演奏も披露されました。 ② 石垣市議会におけるICT改革は、議員がタブレット端末で議案書や資料を閲覧し、ペーパーレスで会議に参加するシステムを導入しています。議場で大型スクリーンを設置し、議案や議員の賛否をリアルタイムでインターネット視聴者に配信することで、議会の様子をより多くの人に届け、透明性を高めています。委員会などをオンラインで開催し、離れた場所からの参加や、より多くの議員が参加できる体制を整えています。会議議事録や議案などをインターネットで公開し、市民への情報開示を促進しています。 ③ 竹富町議会に表敬訪問し、大久研一議長、三盛克美副議長にお会いし北方領土返還運動の現状を説明し、返還運動への協力要請をしてきました。 ④ 1月14日に行われた尖閣諸島開拓130周年記念式典では、市民のほか国会議員、県、自治体議員など約150人が参加し、石垣市が招待した国政政党からは、西銘恒三郎衆議院議員（自由民主党）、原口一博衆議院議員（立憲民主党）、前原誠司衆議院議員（日本維新の会・共同代表）、榛葉賀津也参議院議員（国民民主党・幹事長）、神谷宗幣参議院議員（参政党・代表）、百田尚樹（日本保守党・代表）が出席し挨拶をいただき、この他、自由民主党からは小野田紀美参議院議員、日本維新の会からは和田有一朗衆議院議員、池下卓衆議院議員、奥下剛光衆議院議員、西田薫衆議院議員、梅村みずほ参議院議員、松沢成文参議院議員、れいわ新選組からは大島九州男参議院議員、参政党からは吉川りな衆議院議員、沖縄県からは照屋副知事が出席し玉城知事の祝辞を代読し、内閣府からは領土・主権対策企画調整室の岡室長が出席し挨拶がありました。 ⑤ 与那国町議会に表敬訪問し、糸数健一町長、崎元俊男議長、大宜見浩利副議長にお会いし北方領土返還運動の現状を説明し、返還運動への協力要請をしてきました。
--------------------	---

報 告 番 号 3 号

令和6年12月27日

根室市議会議長 田塚 不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会 派 名 創 新

代表者名 足 立 計 昌

区 分	☒ 調査研究 ・ ☐ 研 修 ・ ☐ 広 報 ・ ☐ 広 聴 ☐ 要請・陳情活動 ・ ☒ 北方領土対策活動 ・ ☐ 会 議
活動テーマ・目的等	① ロシア軍のウクライナ侵攻に伴う北方領土返還交渉中断期間中の、隣接地域振興対策を求める要請行動 ② 学校給食センターの施設、衛生管理体制を視察 ③ 北方領土返還要求中央アピール行動への参加
期 間	令和6年11月28日（木）～12月1日（日）
参 加 者 氏 名	足立計昌、 五十嵐 寛、 永洞 均 田塚不二男（11月28日、29日）
応 対 者	① 衆議院・参議院道内選出国會議員（自民党・公明党） ② 秦野市 学校教育課長 坂口 憲 学校給食担当課長 齋藤 佳織 学校給食担当課長代理 藤間 宏幸 学校給食担当栄養士 小河 聖 ③ 北隣協、元島民、返還運動関係者等
場 所	11月28日（木） 伊東北方担当大臣室 鈴木貴子衆議院議員、長谷川岳参議院議員会館議員事務室。 他、北海道選出衆参国會議員 11月29日（金）秦野市、鎌倉市 12月 1日（日） 日比谷公園野外音楽堂→銀座外堀通り→鍛冶橋交差点
行 程	11月28日（木）根室→釧路空港→羽田空港 11月28日（木）①要請活動（午後13：00から18：30） 11月29日（金）②学校給食センター視察 12月01日（日）③北方領土返還要求中央アピール行動 12月01日（日）羽田空港→釧路空港→根室

内 容 ・ 成 果 等	① ロシア軍によるウクライナ侵攻の長期化に伴い、北方領土返還交渉及び交流事業が中断されている。北方領土返還運動原点の地である根室市議会会派「創新」といたしまして、北海道選出衆参両院議員を訪問し、返還交渉中断期間中の根室市及び北方領土隣接地域の振興対策の早急な実行を要望して参りました。 ② 秦野市学校給食センターは、複数の学校の調理・配送する方式により、調理や運営・衛生管理等を一元的に実施できる。鎌倉市給食センターは、弁当箱を使ったデリバリー方式（選択制弁当給食）を導入している。両給食センターでも食物アレルギー対応食の調理が可能、また地元で収穫した食材を積極的に使用している。 ③ 北方領土返還要求中央アピール行動。 姉妹都市の黒部市を始め、魚津市、入善町からの多くの議員の皆様に参加協力を頂く。 行動終了後には西新宿で開催の北方領土展を訪問。
--------------------	---

根室市議会議長 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 創 新

代表者名 足 立 計 昌

区 分	☐ 調査研究 ・ ☐ 研 修 ・ ☐ 広 報 ・ ☐ 広 聴 ☐ 要請・陳情活動 ・ ☒ 北方領土対策活動 ・ ☐ 会 議
活動テーマ・目的等	北方領土返還運動啓発活動
期 間	2024 年 10 月 8 日（火）～10 月 9 日（水）
参 加 者 氏 名	永洞均 足立計昌 五十嵐寛
応 対 者 （ 講 師 等 ）	①河野宮崎県知事。北方領土返還要求宮崎県民会議関係者 ②JR 宮崎駅前広場 ③都城市議会表敬訪問 神脇都城市議会議長 ④鹿児島市議会表敬訪問 伊地知鹿児島市議会副議長 ⑤JR 鹿児島中央駅前広場 ⑥鹿児島県庁表敬訪問。北方領土返還要求鹿児島県民会議関係者
場 所	宮崎県宮崎市内。都城市。鹿児島市内。
行 程 （ 概 要 ）	2024 年 10 月 7 日（月）根室市→宮崎市 2024 年 10 月 8 日（火）宮崎市→都城市→鹿児島市（①、②、③） 2024 年 10 月 9 日（水）鹿児島市内（④、⑤、⑥） 2024 年 10 月 10 日（木）鹿児島→根室
内 容 ・ 成 果 等	①河野宮崎県知事に北方領土返還要求運動の現状の説明と、 宮崎県における返還要求運動の支援を直接要請。 ②JR 宮崎駅前における街頭啓発と署名活動。 ③神脇都城市議会議長に北方領土返還要求運動の現状の説明と 返還要求運動の支援を要請。都城市議会としての北方領土現地視 察を要請。 ④伊地知鹿児島市議会副議長に北方領土返還要求運動の現状の説明 と返還要求運動の支援を要請。鹿児島市議会としての北方領土現 地視察を要請。 伊地知副議長は 20 年ほど前に現地視察経験ありで、現場に立つ

	ことにより北方領土問題の認識を新たにしたとの事で、現地視察は重要であることの認識を示された。 予定にない鹿児島市議会各会派の訪問を先導して下さった。 ⑤JR 鹿児島中央駅前における街頭啓発と署名活動。 ⑥鹿児島県庁担当者に北方領土返還要求運動の現状の説明と、鹿児島県における返還要求運動の支援を直接要請。
--	--

報告番号 1号
令和6年6月14日

根室市議会議長 田塚不二男 様

政務活動報告書（会派用）

会派名 創 新

代表者名 足立 計昌

区 分	☐ 調査研究 ・ ☒ 研 修 ・ ☐ 広 報 ・ ☐ 広 聴 ☐ 要請・陳情活動 ・ ☐ 北方領土対策活動 ・ ☐ 会 議
活動テーマ・目的等	「政策サイクル推進地方議会フォーラム」公開セミナー(報告会) 「地方議会からの政策サイクル」と成熟度評価モデル ～その現在・過去・ミライ～ 報告会
期 間	令和6年5月25日(土) 13:30～17:30
参 加 者 氏 名	田塚不二男
応 対 者	大正大学地域創生学部公共政策学科教授 江藤俊昭氏 福島県会津若松市議会議員 松崎 新氏 長野県飯田市議会議員 井坪 隆氏 三重県いなべ市議会議員 清水 隆弘氏
場 所	会場 全国町村会館2階ホール(東京都千代田区永田町1-11-35)
行 程	5月26日(帰) 羽田空港―中標津空港―根室駅
内 容・成果等	江藤俊昭氏は、本日のテーマについて、今後の議会に求められる課題としては、議会改革の到達点いわゆる「住民自治の根幹」、新たな議会(閉鎖的でなく住民と歩む議会、質問の場だけではなく議員間討議を重視する議会、追認機関ではなく首長と政策競争する議会)を目標にすべき。

表 議会改革と住民との関係

議会改革の段階	改革方向	住民との関係
前史(議会活性化)	一問一答方式、対面式議場 委員会の公開等	住民の不信の蔓延
本史 第1ステージ	住民と歩む議会等の新たな 議会運営	議会基本条例
本史 第2ステージ	住民の福祉向上につなげる	議会からの政策サイクル

■議会からの政策サイクルの発見

三重県議会(新しい政策サイクル:決議等による首長等の縛り)

会津若松市議会(議会からの政策サイクル:住民を起点に政策開発
(住民との意見交換での意見をもとに政策提言))

飯田市議会(まちづくり委員会との協働による政策サイクル(住民
との意見交換会での意見をもとに政策提言、および議会による行政
評価から決算審議、予算要望、予算審議)奥州市、滝沢市等)

■根室市議会は議会基本条例制定後において、通年議会を取り入れ
通任期を意識し常任委員会活動の活性化に取り組んでいる。

今後においても更に所管事務調査、議案審査の重要性を鑑みて委
員長のリーダーシップを活かし委員会代表質問等が検討課題と言
える。

■議選監査委員の議会との協働:守秘義務に怯えるな

①議会からの政策サイクルが要請(地域経営の本丸の地方財政にかか
わる→監査委員との協働)

②守秘義務の限定(議員の役割を果たせないのは本末転倒)

③重要な論点を議会で説明(情報公開条例の範囲ならば問題なし。お
よび視点の提示。

※「地方財務(2023年1月号～12月号において連載(会津若松市、可
児市、西脇氏などの例も)

■議会、議員活動の条件整備:新しい原価方式

①議会を充実させるための条件:報酬、定数、議会事務局、政務活動
費、議会図書館

②報酬については、新しい原価方式(議員活動量・成果に即した報酬
(公選の首長との比較で)

■議会事務局改革

①最も身近の支援者

②職員の「補佐の射程」(補佐の射程(支援、協力、参加)、議会局に
変更。組織目標、使命の明確化、人事異動のルール化、議会事務

局の共同設置は不適合)

※公益財団法人日本生産本部:地方議会改革プロジェクト「議会(事務)局分科会」提言

千葉茂明上席研究員の論点

■議会改革の進んでいる議会に共通項があることに注目した。

それは、①改革志向と行動力のある議員②包容力のある議長(自ら推進役のことも)③積極的に政策提言する議会事務局職員。

■2024年4月15日「補佐の射程」明確化など8項目の提言をまとめ、日本生産本部地方議会改革プロジェクトのホームページ上で公表した。

{提言1}議会事務局職員の「補佐の射程」の明確化。

{提言2}議会、議員と議会事務局職員の関係「支援」「協力」「参加」に、そのために議会事務局職員による議会運営や政策等に関する発言の場の確保、提案権を。

{提言3}議会事務局の名称を「議会局」に変更すべき、議会局の組織編成権を確立すべき。

{提言4}議会事務局の組織目標、組織使命(ミッション)の明確化を。

{提言5}任命権者と評価者は同一人物に、議会事務局長の人事上の最終評価者は議長にすべき。

{提言6}議会事務局職員の人事上のルール化を。

{提言7}議会事務局職員の独自採用を。

{提言8}市町村も議会事務局の設置は必置とすべき、議会事務局と共同設置は不適合。

